

いるま

狂言会

人間国宝 山本東次郎の至芸

一、狂言「棒縛」

山本 泰太郎
山本 凜太郎
山本 則重

一、素囃子「鞆鼓」

笛 藤田 貴寛
小鼓 田邊 恭資
大鼓 柿原 孝則

一、狂言「通円」

山本 則孝
山本 則秀
若松 隆

一、狂言「鎌腹」

山本 東次郎
山本 凜太郎
山本 則俊

一、狂言のお話

山本 東次郎

※出演者、演目は都合により、変更になる場合がございます。
（終了予定時刻 十七時三〇分頃）
予めご了承ください。

狂言「棒縛」 ぼうしばり

主人は、いつも自分が外出したすきに、二人の召使い、太郎冠者と次郎冠者が盗み酒をすることに気づき、ある日一計を案じ、次郎冠者の両腕を左右に広げたまま棒に縛り、太郎冠者は後ろ手に縛ってから外出する。残された二人は、やはり酒が飲みたくなり、苦心の結果、不自由な恰好のまま大盃に酒をくみ、互いの口まで運んで飲むという、珍妙な酒盛りを始め、歌舞に興ずるところへ主人が帰宅し、叱責される。

狂言「通円」 つうえん

旅の僧が宇治橋のたもと無人の茶屋に茶湯が手向けられているわけを所の者に尋ねると、昔、通円という茶屋坊主が宇治橋供養のとき、茶を点てすぎて死んだ跡だと聞く。すると僧が待つところに通円の幽霊が現れる。そして、宇治橋供養半ばに都からの巡礼者が三百人ほど、通円の点てる茶を飲みほそうと押し寄せて来たので、負けじとばかり大茶を点て争ったが、ついに負けて最期を吐いたと語り、回向を頼んで消え失せる。

狂言「鎌腹」 かまばら

夫の太郎が怠けて山へまきを取りに行かないので、妻は怒って、鎌を結びつけた棒をふりあげて追い回す。仲裁人が入って、太郎に棒と鎌を持たせ、妻を連れて立ち去る。ひとり残った太郎は、女に侮辱されるより死んだほうがよいと、鎌をふりあげて腹へ突き刺そうとするなど自殺を試みるが、気がおきて死にきれない。結局、自殺は断念して山へ行くことにするが…。

【出演】 山本東次郎 山本則俊 山本泰太郎 山本則孝
山本則重 山本則秀 山本凜太郎 若松隆
囃子方：藤田貴寛 田邊恭資 柿原孝則

平成 29年 6月25日(日)14:00開演(13:30開場)

入間市産業文化センター

入場料(全席指定・税込)：前売 3,000円(当日 3,500円)

チケット一般発売・予約開始 3月4日(土) 9:00~

チケット取扱い・お問い合わせ

●入間市文化創造アトリエ・アミーゴ

〒358-0053 埼玉県入間市仏子 766-1 TEL04-2931-3500
窓口・電話予約：9:00~20:00

※販売初日は、9:00から窓口のみ。電話予約は翌日からの取扱い。

●入間市産業文化センター

〒358-0001 埼玉県入間市向陽台 1-1-7 TEL04-2964-8377
窓口・電話予約：8:30~19:30(祝日を除く月曜日休館)

インターネット予約
※販売初日 9:00~10:00の電話・インターネット予約はコンピュータが座席をご予約します。

●交通案内

【電車】西武池袋線・入間市駅(南口)下車 徒歩約12分



【共催】NPO法人 入間市文化創造ネットワーク・公益財団法人 入間市振興公社



山本東次郎 やまもと とうじろう

狂言方大蔵流・山本東次郎家四世山本会主宰
三世東次郎長男
平成10年紫綬褒章受章
平成19年度日本芸術院賞受賞
平成24年重要無形文化財各個認定(人間国宝)



山本則俊 やまもと のりとし

狂言方大蔵流・三世東次郎三男
平成2年度芸術選奨新人賞受賞
平成19年度芸術祭優秀賞受賞
平成24年旭日双光章受章
重要無形文化財総合指定



山本泰太郎 やまもと やすたろう

山本則直長男
平成22年度芸術祭優秀賞受賞
平成23年度日本伝統文化振興財団賞受賞
重要無形文化財総合指定



山本則孝 やまもと のりたか

山本則直次男
父および東次郎に師事
重要無形文化財総合指定